

令和3年度 第2回富田林市認知症条例策定ワーキング 議事要点まとめ

会議名	令和3年度 第2回富田林市認知症条例策定ワーキング
開催日時	令和3年12月25日 土曜日 14:00~15:30
場所	富田林市きらめき創造館 (Topic) 2階グループ活動室 A・B
配布資料	別紙 次第のとおり

第2回ワーキングでは、介護家族1名、認知症サポート医1名が新たなメンバーに加わりました。前回の議事内容を確認するとともに、条例全体のイメージを共有し、それぞれの項目について意見交換しました。以下、項目ごとに要点をまとめています。

	内容
介護の経験 現状	<ul style="list-style-type: none"> ○プライドが高い性格のため、人から何か言われることに拒否が強く、関わり方が難しかった。 ○はじめは嫌がっていたが色々な人と関わりを持つことで明るく過ごせるようになった。 ○（預けるのを嫌がっていましたが）関わり方を変えると（くすりを）預かることができました。 ○私も夫も仕事が休めず退職に踏み切ることもできませんでした。 ○情報は持っていたが、資源を使うことに拒否がありしんどかった。 ○情報を得ることも大切だが、穏やかに過ごせることを主にしたい。 ○（認知症になっても）ローンがあるし、働きたいが、場所がない。
条例の名称	<p>○条例の名称は条例の顔と言え、名称で印象が決まる。理念や意図を込めてその名称を用いることになる。名称は、参加者からの意見を基に決定する。次回検討。</p>
基本理念	<ul style="list-style-type: none"> ○「認知症になっても笑顔でくらす富田林市」はこれまで認知症施策の取り組み目標としてきたキャッチフレーズ。 ○認知症の人が主体になっていますが、一番困るのは家族。 ○「認知症になっても本人と家族が笑顔で暮らせる」とした方がよく、家族への支援などの情報発信をしていかなければならない。「認知症の人が自らの意思により」とあるが、認知症の人が自らの意思を表現できない場合は家族が代わって行うことも多いので「認知症の人及び家族の意志によって社会参加できるような地域づくりを目指す。」とするほうがよい。「認知症の人とその家族を支え」と「支え」の文言が必要。 ○「当事者と家族は一体である」とはいうが認知症の理解や受入れの状況が違うこともあり、ご本人と家族の話を聞き、本人の気持ちや思いを確認しながら優先順位をつけることが必要で、支援のネットワークが重要。 ○市民みんなが家族に寄り添ったりねぎらったりする意識がないと、共生社会は目指せないのではないか。

令和3年度 第2回富田林市認知症条例策定ワーキング 議事要点まとめ

	<p>○「認知症」は高齢者のイメージが強いため「若年性認知症」の文言があるほうがはっきりとイメージが沸くのではないか。</p>
市の責務	<p>○情報の発信が大切。どのようにして必要な人に情報を届けるかが重要。</p> <p>○認知症になった時は、医療や介護が介入する。認知症になる前の啓発は市の大きな役割であると思う。</p> <p>○初等教育の段階で人権教育として取り上げなければならないと思う。</p>
市民の役割	<p>○「予防」を「備え」にした方がしっくりくる。認知症の備えを意識した日常生活を送るために、運動や生活習慣を意識するとした方がよい。「ならないために、自主的な取り組みをする」という意味合いも含めて「予防」よりもソフトでよいのではないか。いかに理解や認識を深めて、継続的に取り組むかにつながる。</p> <p>○早期発見、早期治療を行うことで、ACP（アドバンスケアプランニング）でき、本人が意向を事前に伝えておくことも可能。</p>
用語の定義	<p>○「市民」は、住民だけでなく富田林市にかかわりのある人すべてをさす。</p> <p>○「関係機関」とあるが、（認知症に関わる）グループや団体は、医療機関や介護施設とは違うので、別項目で挙げた方がよいのではないか。第2条の「定義」の中で、地域組織も加えた方がよいのではないか。</p>
その他	<p>○ウェブサイトの閲覧ができない方に向けても情報発信してもらいたい。</p> <p>○条例制定をきっかけに事業の整理や新たな施策の創設を目指す。</p> <p>○条例を作って、何も取り組みがされていなければ意味がないと思う</p> <p>○「認知症初期集中支援チーム」は、認知症がある人で、相談窓口や医療機関とつながりがない場合に、医師と地域包括支援センターがチームを組んで訪問支援する。関わった時点を「初期」として活動。</p> <p>○横断的にネットワークを組んで、理念に沿った活動を戦略的に集中的・全体的に行っていくよう、定期的に課題や効果、施策を審議できる機関を併せて設けることが必要ではないか。振り返りやこれからの事を考える会議を作っていきたい。</p>